

静岡県の慣行基準に対する市の認定基準

作物名	品種、作型等		農薬成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備考	策定期等	
			県 慣行の回数	市 基準の回数	県 慣行の使用量	市 基準の回数			
米	水稻	一般品種平坦地 (種苗機械移植)	19	15.2	9.0	7.2	左記の慣行の農薬成分使用回数に 畦畔除草剤(慣行3回)は含まれない。	①、⑩、⑯	
		一般品種標準高冷地(中山間地) (種苗機械移植)	21	16.8	9.5	7.6		⑯	
		一般品種高冷地 (種苗機械移植)	16	12.8	7.5	6.0		⑯	
		コシヒカリ平坦地 (種苗機械移植)	20	16				①、⑩、⑯	
		コシヒカリ準高冷地(中山間地) (種苗機械移植)						⑩、⑯	
		コシヒカリ高冷地 (種苗機械移植)						⑧、⑩、⑯	
飼料用米	一般品種	11	8.8	9.0	7.2		⑪		
	稲WCS	一般品種	10	8	9.0	7.2		⑪	
麦類	小麦		7	5.6	10.0	8.0		②、④	
	ライ麦	秋まき	6	4.8	10.0	8.0		⑫	
雑穀類	キビ	露地普通栽培	1	0.8	7.0	5.6		⑩	
	トウモロコン(子実)	露地普通栽培	8	6.4	26.0	20.8	ポップコーン用を含む	⑩	
	スイートコーン	トンネル栽培、露地普通栽培	8	6.4	26.0	20.8		②	
	そば	秋そば・夏そば	1	0.8	1.5	1.2		⑨	
豆類 (種実)	大豆		9	7.2	6.0	4.8	黒大豆を除く	②、④	
	小豆	大納言・普通小豆	7	5.6	2.0	1.6		⑨	
	ラッカセイ		4	3.2	3.0	2.4		④	
	その他の豆類(種実)	インゲンマメ、ソラマメ等	6	4.8	6.0	4.8		⑨	
いも類	カンショ	早掘り(7~8月収穫)	6	4.8	4.0	3.2		②	
		普通掘り(9月~11月収穫)			6.0	4.8		②、④	
	サトイモ	海老芋・露地	9	7.2	32.0	25.6		②	
		石川早生丸他・露地	9	7.2	30.0	24.0			
		在来種・露地高冷地	8	6.4	21.0	16.8		⑩	
	バレイショ	早掘り(トンネル栽培4~5月収穫)・砂質土	8	6.4	20.0	16.0		②	
		春作普通栽培(5~8月収穫)・壤土	12	9.6	18.0	14.4			
	やまのいも	ナガイモ	9	7.2	38.0	30.4		②	
自然薯		11	8.8	32.0	25.6		④		
その他のいも類	キクイモ、ヤーコン(塊茎)、コンニャクなど	6	4.8	15.0	12.0		⑨		
野菜類 (葉茎菜類)	ナバナ	秋冬どり、11~3月収穫	4	3.2	29.0	23.2		②	
	さいしん(油菜芯)	施設・露地(周年)	8	6.4	15.0	12.0		④	
	ケール	夏まき(7~8月播種)	10~3月収穫	11	8.8	40.0	32.0		
		秋まき(10月播種)	3~5月収穫	7	5.6	32.0	25.6		⑩
		4~5月収穫	(1月播種)	10	8	40.0	32.0		
	コマツナ	施設周年		7	5.6	15.0	12.0		②、⑦
		露地栽培		7	5.6	15.0	12.0		⑬
	山東菜	周年	7	5.6	15.0	12.0		⑨	
タアサイ	施設・露地(周年)	12	9.6	12.0	9.6		④		

静岡県の慣行基準に対する市の認定基準

作物名	品種、作型等	農薬成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備考	策定期等
		県 慣行の回数	市 基準の回数	県 慣行の使用量	市 基準の回数		
チンゲンサイ	春・夏・秋どり(3~11月収穫)	7	5.6	10.0	8.0	化学肥料使用量は1作当たり	②
	冬どり(12~2月収穫)	5	4				
てごろ菜	秋どり、10~11月収穫	6	4.8	15.0	12.0		②
ミズナ	秋冬どり(11~3月収穫)	6	4.8	12.0	9.6		②、④ ⑦、⑬
	施設4~10月収穫	9	7.2				
ルッコラ	施設春~秋収穫	5	4	8.0	6.4		⑦
非結球 メキャベツ	秋冬どり(11月~3月収穫)、沖積・洪積	8	6.4	29.0	23.2		②
	秋冬どり(11月~3月収穫)、海成砂土			39.0	31.2		
非結球レタス	年内どり	16	12.8	23.0	18.4		②
	年明どり	13	10.4	29.0	23.2		
サンチュ	春・夏・秋どり(4月~11月収穫)	8	6.4	12.0	9.6		③
	冬どり(12月~3月収穫)	7	5.6				
エゴマ	露地普通	0	0	7.0	5.6		④
シソ	露地普通	10	8	30.0	24.0		④
バジル	施設普通	10	8	15.0	12.0		⑦
コリアンダー	施設(周年)	6	4.8	19.0	15.2	香菜、シャンツァイ	④
セルリー	露地(秋どり、11~12月収穫)	30	24	49.0	39.2		②
	ハウス(冬どり、12~3月収穫)	26	20.8	50.0	40.0		
	ハウス(春どり、3~6月収穫)	22	17.6	40.0	32.0		
アスパラガス	ハウス、トンネル、露地	8	6.4	36.0	28.8	4~5月収穫 2~4月及び6~10月収穫	⑨ ⑩
	ハウス立茎長期栽培	26	20.8				
食用アロエ	周年(1~12月収穫)	0	0	10.0	8.0		③
エンサイ(クウシンサイ)	施設春~秋収穫	10	8	34.0	27.2		⑦
カリフラワー	秋冬どり(9~3月収穫)	18	14.4	28.0	22.4		⑦、⑬
キャベツ	年内どり	15	12	30.0	24.0		②
	年明どり						
	春どり	8	6.4	36.0	28.8		
	夏どり	16	12.8	36.0	28.8		
	レッドキャベツ	年内どり・年明けどり	15	12	31.0		
クレソン	露地普通栽培 水掛け流し	2	1.6	3.0	2.4		⑩
シュンギク	秋冬どり(10~3月収穫)	14	11.2	20.0	16.0		②
	春どり(4~5月収穫)	11	8.8	15.0	12.0		⑩

野菜類  
(葉茎菜類)

静岡県の慣行基準に対する市の認定基準

作物名	品種、作型等	農薬成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備考	策定期等	
		県 慣行の回数	市 基準の回数	県 慣行の使用量	市 基準の回数			
野菜類 (葉茎菜類)	ショウガ (根ショウガ)	露地・施設	12	9.6	25.0	20.0	⑨、⑩	
	葉ショウガ	施設・露地	6	4.8	36.0	28.8	⑨	
	すみれ菜 (スイゼンジナ)	夏秋作(5~11月収穫) 冬春作(12~4月収穫)	14	11.2	25.0	20.0	③	
	タマネギ	秋まき春どり	18	14.4	16.0	12.8	②、④	
	ツルムラサキ	露地普通	4	3.2	21.0	16.8	④	
	トチュウ		6	4.8	10.0	8.0	⑨	
	ニラ	露地・施設	18	14.4	45.0	36.0	⑨	
	ニンニク	露地・施設	12	9.6	20.0	16.0	⑨	
	葉ニンニク	露地・施設	6	4.8	45.0	36.0	⑨	
	白ネギ	春まき年内どり			16.0	12.8	②、⑩	
		夏まき年明どり	24	19.2	20.0	16.0		
		秋まき夏秋どり			18.0	14.4		
	葉ネギ	秋・冬まき(11~3月)	冬・春どり(1~6月)	8	6.4	20.0	16.0	①
		春まき(4~6月)	夏どり(7~9月)	17	13.6			
		夏まき(7月)	夏どり(7~9月)			16.0	12.8	①、⑩
		夏まき(8~9月)	秋どり(10~12月)	19	15.2			
		秋まき(10月)	秋どり(10~12月)			20.0	16.0	①
	ハクサイ	秋どり(10~11月収穫)		17	13.6	18.0	14.4	⑮
		冬どり(12~2月収穫)		16	12.8	18.0	14.4	②
	フキ		16	12.8	30.0	24.0	⑨	
	ブロッコリー	秋冬どり(11~3月収穫)		18	14.4	31.0	24.8	②
		春どり(4~6月収穫)		10	8			
	茎ブロッコリー	秋冬どり(11~1月収穫)		11	8.8	37.0	29.6	⑦
	ホウレンソウ	秋どり		8	6.4	15.0	12.0	①
		冬・春どり		6	4.8	20.0	16.0	
	ミョウガ	露地普通	4	3.2	18.0	14.4	④	
	メキャベツ	秋冬どり(11~3月収穫) 沖積・洪積		10	8	29.0	23.2	②
秋冬どり(11~3月収穫) 海成砂質					39.0	31.2		
モロヘイヤ	露地普通	8	6.4	20.0	16.0	④		
	半促成(5~10月収穫)	7	5.6					
	促成(9~6月収穫)	10	8				35.0	28.0
ラッキョウ	春どり(4~6月収穫)	14	11.2	30.0	24.0	⑦		
エシャレット	早だし(11~1月収穫)	16	12.8	30.0	24.0	③		
	冬春だし(2~4月収穫)							

静岡県の慣行基準に対する市の認定基準

作物名	品種、作型等	農薬成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備考	策定期等		
		県 慣行の回数	市 基準の回数	県 慣行の使用量	市 基準の回数				
野菜類 (葉茎菜類)	レタス	年内どり	19	15.2	20.0	16.0		②	
		年明どり	15	12	26.0	20.8			
	ワケギ	露地・施設	20	16	25.0	20.0		⑨	
野菜類 (果菜類)	トウガン	露地普通	16	12.8	25.0	20.0		④	
	シシトウ	露地普通	22	17.6	35.0	28.0	トウガラシを含む	④	
		半促成(6~11月収穫、海成砂土)	28	22.4				②	
	エダマメ	露地普通、ハウス、トンネル	11	8.8	10.0	8.0		④、⑩	
	サイインゲン	露地・トンネル栽培	13	10.4	20.0	16.0		⑨	
	サヤエンドウ	キヌサヤエンドウ	露地春どり、3~5月収穫	12	9.6	25.0	20.0		②
			露地秋どり、9~12月収穫	14	11.2				
			ハウス春どり、2~4月収穫	12	9.6				
	サヤエンドウ	砂糖エンドウ(ハウス)	加温、12~5月収穫	20	16	19.0	15.2		②
			無加温、3~5月収穫	12	9.6				
	未成熟ソラマメ	露地・施設	12	9.6	15.0	12.0		⑨	
	イチゴ	ハウス促成	壤質~粘質土	54	43.2	23.4	18.7	農薬成分使用回数はランナーを切り離した以降の育苗期間及び本ぽでの栽培期間が対象	②
		ハウス促成	砂質土			34.0	27.2		
	オクラ	露地普通		12	9.6	28.0	22.4		⑦、⑭
		トンネル早熟		14	11.2	28.0	22.4		⑮
	カボチャ	露地普通		18	14.4	20.0	16.0		④
		ハウス・トンネル	壤・粘質土	14	11.2				⑩
		ハウス・トンネル	砂質土					28.0	22.4
	キュウリ	促成(2~5月収穫)		40	32	32.0	25.6		②
		半促成(4~7月収穫)		42	33.6				
抑制(9~12月収穫)			44	35.2					
露地栽培			30	24	30.0				
スイカ	トンネル栽培(6~7月収穫)	黒ボク土	12	9.6	7.0	5.6		②	
	トンネル栽培(6~7月収穫)	黄色土			8.0	6.4			
	トンネル栽培(6~7月収穫)	砂質土			22.0	17.6			
	ハウス栽培(5~6月収穫)	黒ボク土			5.0	4.0			⑩
ズッキーニ	露地普通		18	14.4	18.0	14.4		⑦	
トマト	露地普通		40	32	21.0	16.8	(注)トマト・ナス交配用の植物生長調整剤は1花に1回かけるので、1回とカウントする	④	
	ハウス無加温		34	27.2					
	促成(1~6月収穫)	壤質土	42	33.6					24.0

静岡県の慣行基準に対する市の認定基準

作物名	品種、作型等	農薬成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備考	策定期等	
		県 慣行の回数	市 基準の回数	県 慣行の使用量	市 基準の回数			
野菜類 (果菜類)	トマト	越冬長期(10~6月収穫) 壤質~粘土質	54	43.2	50.0	40.0	(注)トマト・ナス交配用の植物生長調整剤は1花に1回かけるので、1回とカウントする	⑬
		越冬長期(12~6月収穫) 砂質土			39.8	31.8		②
		越冬長期(12~6月収穫) 壤質~粘質土			36.0	28.8		⑩
		抑制(10~2月収穫) 砂質土			21.6	17.3		②、④
		抑制(10~2月収穫) 壤質~粘質土			19.2	15.4		②
	中玉トマト ミニトマト	露地栽培	40	32	18.0	14.4		⑨
		越冬長期(9~6月収穫) 壤質~粘土質	46	36.8	42.0	33.6		⑬
		越冬長期(10~6月収穫) 砂質土			39.8	31.8		②
		越冬長期(10~6月収穫) 壤質~粘質土			36.0	28.8		
	ナス	露地栽培(5~7月収穫)			30	24	26.0	20.8
	ニガウリ	露地長期栽培(7~10月収穫)	40	32	50.0	40.0		⑩
		促成(11~6月収穫)	58	46.4	52.0	41.6		②
		ピーマン	露地普通	14	11.2	30.0	24.0	
	マクワウリ	露地早熟・露地普通	27	21.6	27.0	21.6		④
		施設栽培	35	28	35.0	28.0		⑨
温室メロン	露地普通	13	10.4	10.0	8.0		⑦	
	春作(4~6月収穫)	16	12.8	14.0	11.2		②	
	夏作(7~9月収穫)	20	16					
	秋作(10~12月収穫)	18	14.4					
冬作(1~3月収穫)	14	11.2						
野菜類 (根菜類)	カブ	露地・夏どり(6~8月まき)	8	6.4	4.0	3.2		②
		露地・春どり(4~5月まき)、秋どり(9月まき)	11	8.8	15.0	12.0		⑩
		トンネル、ハウス・冬春どり(10~2月まき)			20.0	16.0		
	ゴボウ	冬春どり(2~6月収穫・砂質土)	8	6.4	30.0	24.0		③
		秋冬どり(10~12月収穫・黒ボク土)			13.0	10.4		
	ダイコン	年内収穫 黒ボク土、黄色土	10	8	16.0	12.8		②
		1~3月収穫 黒ボク土、黄色土	14	11.2	29.0	23.2		
		年内収穫 砂質土	10	8	34.0	27.2		⑩
		1~5月収穫 砂質土	14	11.2				
	葉ダイコン	施設春~秋収穫	7	5.6	15.0	12.0		⑦
ニンジン	春どり(4~5月収穫)	4	3.2	15.0	12.0		②	
	冬どり(10~2月収穫)	7	5.6	16.0	12.8			
ハツカダイコン	施設春~秋収穫	5	4	10.0	8.0		⑦	
レンコン	露地	7	5.6	40.0	32.0		⑮	
野菜類 (その他)	まこもたけ	露地	3	2.4	23.0	18.4		⑪

静岡県の慣行基準に対する市の認定基準

作物名	品種、作型等	農薬成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備考	策定期等	
		県 慣行の回数	市 基準の回数	県 慣行の使用量	市 基準の回数			
野菜類 (その他)	タケノコ	露地普通	1	0.8	33.0	26.4	⑬	
その他の作物	ゴマ(子実)	普通露地栽培	2	1.6	10.0	8.0	⑩	
	ひまわり(子実)	露地(子実用)	3	2.4	10.0	8.0	⑪	
工芸作物	茶		12	9.6	54.0	43.2	①、④、⑮	
果樹	温州ミカン	極早生温州一肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)	14	11.2	20.0	16.0	作業道がある場合は、作業道が占める割合について慣行の化学肥料使用量を削減する。	②、④、⑦、 ⑩
		極早生温州一普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)			25.0	20.0		
		早生温州一肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)	15	12	20.0	16.0		
		早生温州一普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)			25.0	20.0		
		普通温州一肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)	17	13.6	22.0	17.6		
		普通温州一普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)			30.0	24.0		
果樹	ハウスミカン	早期加温夏芽母枝	14	11.2	17.0	13.6	②、⑦	
		後期加温春芽母枝	10	8	20.0	16.0		
	中晩柑類	甘夏一肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量5t/10a)	14	11.2	35.0	28.0	作業道がある場合は、作業道が占める割合について慣行の化学肥料使用量を削減する。	②、④、⑦、 ⑩
		甘夏一普通土壌						
		夏みかん(露地)	14	11.2	35.0	28.0		⑨、⑩
		ネーブルオレンジ	21	16.8	35.0	28.0		②、④、⑩
		清見 (栽植本数60本/10a、目標収量3t/10a)	19	15.2	30.0	24.0		②、④、⑦、 ⑩
		八朔	19	15.2	30.0	24.0		②、⑩
		レモン	17	13.6	30.0	24.0		
		ハウスメロン	20	16	35.0	28.0		③、⑩
		日向夏 (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	16	12.8	30.0	24.0		②、④、⑦、 ⑩
		はるか (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	16	12.8	30.0	24.0		④、⑦、⑩
		伊予柑 (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	21	16.8	35.0	28.0		②、④、⑦、 ⑩
		ボンカン (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	18	14.4	30.0	24.0		

静岡県 の 慣行基準 に対する 市の 認定基準

作物名	品種、作型等	農薬成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備考	策定期等	
		県 慣行の回数	市 基準の回数	県 慣行の使用量	市 基準の回数			
果樹	中晩柑類	はるみ (栽植本数60本/10a、目標収量3t/10a)	18	14.4	30.0	24.0	作業道がある場合は、作業道が占める割合について慣行の化学肥料使用量を削減する。	②、④、⑦、 ⑩
		不知火	17	13.6	30.0	24.0		②、④、⑩
		ハウス不知火	19	15.2	30.0	24.0		③、⑩
		ダイダイ	16	12.8	35.0	28.0		⑨、⑩
		文旦(露地)	17	13.6	30.0	24.0		⑩
		河内晩柑(露地)	17	13.6	30.0	24.0		⑩
		グレープフルーツ(露地)	19	15.2	30.0	24.0		⑩
		スダチ	16	12.8	28.0	22.4		④、⑩
		黄金柑	16	12.8	28.0	22.4		⑥、⑩
		ユズ(露地)	14	11.2	28.0	22.4		⑨、⑩
		せとか(寧波金柑露地)	18	14.4	30.0	24.0		⑩
		ぎんかん	10	8	8.0	6.4		⑪
		はるひ(露地)	16	12.8	30.0	24.0		⑮
	ブルーベリー	露地	10	8	8.0	6.4	④、⑪	
	食用桑	露地	7	5.6	15.0	12.0	⑨	
	ブラックベリー	露地	6	4.8	15.0	12.0	⑨	
	イチジク		18	14.4	20.0	16.0	②	
		柵井ドーフィン・施設	11	8.8				
	おうとう	露地	20	16	15.0	12.0	⑨	
	カキ	二郎・四ツ溝(肥沃土壌)	18	14.4	17.0	13.6	②	
		二郎・四ツ溝(普通土壌)			20.0	16.0		
	ウメ		13	10.4	15.0	12.0	②	
	スモモ		14	11.2	14.0	11.2	②	
	モモ		20	16	12.0	9.6	②	
	キウイフルーツ		14	11.2	18.0	14.4	②	
	クリ		10	8	12.0	9.6	④	
	くるみ	露地	6	4.8	8.0	6.4	⑨	
ナシ	幸水・豊水	29	23.2	20.0	16.0	②		
	新水・喜水	34	27.2					
	ハウスナシ	18	14.4					
びわ	田中・露地	8	6.4	25.0	20.0	⑨		
ブドウ	ハウス栽培	20	16	8.0	6.4	②		
	屋根掛け栽培	25	20	10.0	8.0			
リンゴ		28	22.4	15.0	12.0	⑤		
オリーブ	露地	14	11.2	16.0	12.8	⑮		

静岡県の慣行基準に対する市の認定基準

作物名	品種、作型等	農薬成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備考	策定期等	
		県 慣行の回数	市 基準の回数	県 慣行の使用量	市 基準の回数			
果樹	未成熟パパイヤ	露地	12	9.6	20.0	16.0	2年生作物として栽培。	⑪
		無加温ハウス	8	6.4	16.0	12.8		
花き類・ 観葉植物	コデマリ	ビニル加温促成	35	28	25.0	20.0		⑪
		ビニル無加温半促成	35	28	25.0	20.0		
		露地	35	28	25.0	20.0		
	トルコギキョウ	加温超促成栽培	41	32.8	12.0	9.6		⑬
		加温促成栽培	41	32.8	12.0	9.6		
		無加温半促成栽培	41	32.8	12.0	9.6		
	バラ		61	48.8	46.0	36.8		⑬

(注) 合成樹脂フィルム上に薬剤を塗布した防除資材(ラノーテープ)は、使用した回数をカウントする(野菜類で使用)

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| ① 平成15年度策定     | ⑦ 平成21年度追加・見直し | ⑬ 平成30年度追加     |
| ② 平成16年度追加・見直し | ⑧ 平成23年度追加     | ⑭ 令和元年度見直し     |
| ③ 平成17年度追加     | ⑨ 平成24年度追加・見直し | ⑮ 令和4年4月追加・見直し |
| ④ 平成18年度追加・見直し | ⑩ 平成25年度追加・見直し | ⑯ 令和5年3月追加・見直し |
| ⑤ 平成19年度追加     | ⑪ 平成27年度追加・見直し |                |
| ⑥ 平成20年度追加     | ⑫ 平成28年度追加・見直し |                |